

2026 年 2 月 19 日

ヒノマルホールディングス株式会社の吸収合併に関するお知らせ

ヒノマルホールディングス株式会社

代表取締役社長 菅 光輝

ヒノマル株式会社

代表取締役社長 安武 広信

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本日開催の各社株主総会において、ヒノマルホールディングス株式会社（以下、甲という。住所：東京都中央区日本橋三丁目 2 番 5 号）とヒノマル株式会社（以下、乙という。）は、2026 年 3 月 31 日を効力発生日として、甲を吸収合併消滅会社、乙を吸収合併存続会社とする吸収合併（以下、本吸収合併という。）を行うことといたしました。本吸収合併により、乙は甲に関する権利義務を承継いたします。

本吸収合併について異議がございましたら、2026 年 3 月 25 日までにその旨をお申し出ください。各社の最終貸借対照表の開示状況は下記のとおりです。

なお、存続会社となるヒノマル株式会社の事業内容、商号、本店所在地等に変更はございません。

敬具

記

(甲)

<http://www.asa-epn.jp/ir/00000995/35wj/>

(乙)

掲載紙：官報

掲載の日付：2025 年 7 月 8 日

掲載頁：63 頁（号外第 156 号）

以上、会社法の規定により催告いたします。

以上

別紙 本吸収合併について

1. 合併の目的

経営資源の集約による組織運営の効率化、および意思決定の迅速化を図り、ガバナンス体制をより強固なものとすることを目的としております。

2. 合併の要旨

(1) 合併の日程

取締役会決議日	2026 年 2 月 10 日
株主総会決議日	2026 年 2 月 19 日
合併契約締結日	2026 年 2 月 19 日
合併公告（官報）	2026 年 2 月 24 日（予定）
債権者異議申立最終期限	2026 年 3 月 25 日（予定）
合併効力発生日	2026 年 3 月 31 日

(2) 合併の方式

ヒノマル株式会社を存続会社、ヒノマルホールディングス株式会社を消滅会社とする吸収合併方式です（いわゆる逆さ合併）。本合併により、ヒノマルホールディングス株式会社は解散いたします。

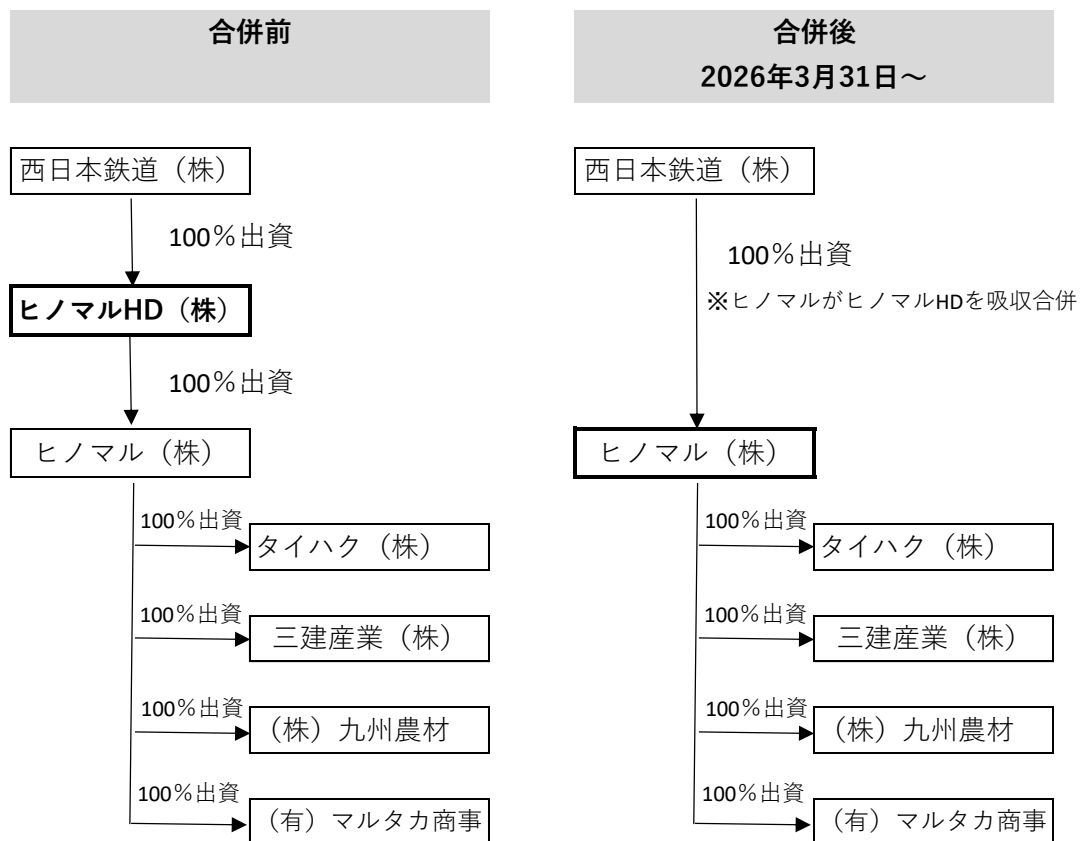
3. 合併当事者の概要

	存続会社	消滅会社
商 号	ヒノマル株式会社	ヒノマルホールディングス株式会社
所在地	熊本県熊本市中央区九品寺五丁目 7 番29号	東京都中央区日本橋三丁目2番5号
代表者	安武広信	菅 光輝
資本金	100百万円	9.85百万円

4. 合併後の状況

本合併後、ヒノマル株式会社はヒノマルホールディングス株式会社の権利義務一切を承継いたします。

5. 合併前後のヒノマルグループ組織図等



■ヒノマルグループの概要

※ヒノマル（株）は前ページ参照

商 号	タイハク（株）	三建産業（株）	（株）九州農材	（有）マルタカ商事
所在地	鹿児島県鹿児島市	熊本県上益城郡益城町	鹿児島県鹿屋市	大分県大分市
代表者	宮園 耕志	中嶋 正実	郷田 靖彦	元島 直也
資本金	20百万円	10百万円	3百万円	3百万円

以上